

銀杏坂タイム

◎ 仙台市子供相談支援センター

所長 大友 重明

仙台市青葉区錦町 1-3-9

TEL 022-214-8602 (相談支援係)

022-214-8848 (青少年指導係)

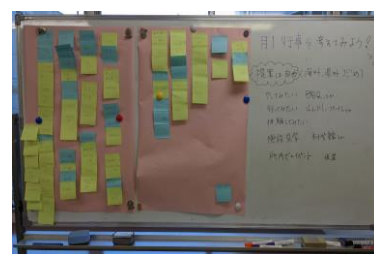
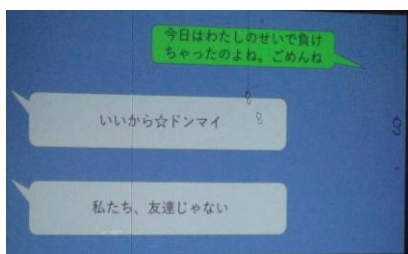
第 143 号 令和 4 年 2 月 7 日

ふれあい広場とサテライトの活動から

□錦町本体より

ふれあい広場では、人と関わることへの不安解消の一助になるように、定期的に SST (ソーシャルスキルトレーニング) を実施してまいりました。今回は「聴くスキル」、気軽に話す二者択一トーク、そして携帯電話の扱い方に関するものでした。まず「聴くスキル」については、相手の話を傾聴する態度の中でも、相づちやうなずきについて参加者で練習しました。二者択一トークでは、発言しないで見守る権利を認めることと相手の考えを肯定する聞き方を大切にして、「あめとガムどちらが好きか」をテーマに意見を交わしました。あめ派・ガム派がそれぞれ熱弁を奮い、味、健康やごみに関する話題が出て大変盛り上がりました。携帯電話の扱い方では、SNS 発信の際の注意点ということで、解釈の仕方次第で誤解を生む「何で来たの」「私たち友達じゃない」といった言葉で演習をして、より良い答えを考えてみました。参考として使用した教育委員会作成の情報モラルに関するリーフレットを各家庭で活用してもらうため配付をしたところです。

相談員と通所者がふれあい広場に対する思い(やりたい行事やほしいもの)を語り合う機会がありました。ブレインストーミング法を用いて実施したこともあり、たくさんの思いやアイデアが出るようになりました。「自分たちの力で自分たちのふれあい広場を良くしていく」ことができるように担当として支援していきたいと思っております。



□サテライトより

ふれあい広場サテライトでは、1月は、季節のイベントである正月遊びに向けての準備に取り組む姿が見られました。正月遊びでは、オリジナルのかるたを作成することとなり、子供たちが拠点での生活や行事の思い出を内容にしたかるたを考えました。利用している子供たちの中には、絵を描くことが好きな子が多く、とてもクオリティの高いかるたが完成しました。

また、絵を描くことが苦手な子も、色塗りを手伝っていました。子供たちが丁寧に準備したおかげで白熱したかるた取りを繰り広げ、とても盛り上がりがありました。自分たちで準備したものが形になった経験が、今後の子供たちの自信につながると思います。



また、けん玉やコマ回しなどにも挑戦しました。普段しない遊びなので不慣れな子が多かったのですが、経験のある子供たちが自主的に教える姿を見ることができました。

拠点の違う子供たちが、イベントを通して交流することで、新しい一面を発見する良い機会となりました。今後も子供たちをサポートしながら、新たな一面を引き出し、今後の成長につなげていきたいです。



関係機関研修会の開催中止について

教育や子供支援の現場で抱える課題についての対応を考えるきっかけとするため、毎年、当センターでは研修会を実施しています。子供たちが抱える SNS・インターネットやゲーム依存そして課金の問題について、御自身も依存体験者だった坂本拳氏をお招きし、多くの事例を通して課題や展望について話が聞けることとなっておりました。しかし、昨今の新型コロナウイルスの深刻な感染状況を考慮し研修会の中止を決定いたしました。

申込開始から 2 月上旬までの間に 90 名を越す関係機関の皆様からの参加希望をいただき、担当として感謝しておりました。この後、申し込みをした方々に順次中止に関する連絡をする予定でおりました。

なお、坂本拳氏からも、課題意識の高い参加者との研修の機会を楽しみしているとのことで、許されれば来年こそぜひ仙台で共に学びたいとの話をいただいております。その際は、ぜひ申し込みをお願いします。

R3 年度内「中央街頭指導」の中止について

今年度、通常の中央街頭指導再開に向けて準備をしてきたところですが、新型コロナウイルス感染症の急拡大を踏まえ、年度内 3 月までの中央街頭指導を中止 することといたしました。引き続き、中央街頭指導においては当センター指導員のみで、人数制限を行いながら実施してまいります。日程等、詳細については街頭指導通信「一期一会」を御覧ください。なお、街頭指導において特に心配な状況等があれば、必要に応じて在籍校に情報提供させていただくことがあります。今年度は、不登校生徒や、登校しようとしたが途中で立ち止まってしまった生徒、登校せずゲーム場で過ごしている児童等に出会っており、心配な状況について情報提供をするとともに、相談機関である当センターに協力できないことがないか連絡させていただいております。

中学校区街頭指導につきましては、これまでどおり、校区の実態を踏まえながら判断していただき、活動した際には報告書（事務局校）の提出をお願いいたします。

現在のところ、中央街頭指導でも中学校区街頭指導でも、各学校が早帰りの際や、塾開始までのちょっとした時間等を利用して、外出している子供たちが多いです。ゲーム場に集まって遊んでいたりと、暗くなっても遊んでいたりする心配な状況もあります。また、新型コロナウイルス感染対策が不十分な状況（マスク未着用、対面で会話しながら食事、密集してゲーム等）を目にすることもあります。引き続き、安全安心な生活を送ることができるよう、コロナ禍を踏まえて、必要な声掛けをしていきたいと思います。